

平成20年度 区民利用施設の管理運営に係る事業計画書

施設名： 野毛地区センター
指定管理者： 中区区民利用施設協会
館長名： 平野 祥三

1 施設の管理運営に対する基本的考え方

「地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、及びスポーツ、レクリエーション、クラブ活動を通じて相互の交流を深める場としての地区センターを運営すること。」横浜市地区センター条例ではこの設置目的が示されています。野毛地区センターはこの設置目的を達成するため、中区区民利用施設協会及び他館と共に地域の中核施設であるという認識を持って次のことを基本として管理運営してまいります。

- (ア) 誰もが利用しやすく、親しまれる地区センターであること。
- (イ) 利用者の安全・安心が確保された地区センターであること。
- (ウ) 利用者のニーズを把握し、満足度の高い地区センターであること。
- (エ) 適確な維持・管理を行い、効率的な運営で経費の削減に努めること。

2 地域ニーズや利用者ニーズの把握と、運営への反映の考え方

(1) 地域との連携に関する計画について

ア.市の中心市街地に位置する地区センターである野毛地区センターの役割は、町内会、野毛街づくり会など地域の振興や活動の場として、また、野毛大道芸や野毛山節等地域の伝統文化・芸能の活動の場、あるいは、相互交流の場として、再発展の過渡期にある野毛地区の中心的な施設であるとの認識の基に地域ニーズにあった管理運営をしていきます。

イ.野毛地区センターは中区と連携した高齢者向けの事業、子育て支援事業や地域に密着した講師等による各種自主事業、あるいは生涯学習・スポーツなど様々な団体のサークル活動であらゆる階層の地域住民にとって、なくてはならない身近な存在となっています。

ロビーは、保護者と一緒におもちゃで遊ぶ幼児から、ゲームをしたり本を読む小中学生、勉強に来る大学・高校生、女性の団欒や、囲碁・将棋を楽しむ人たち等、世代を超えて幅広い人達の交流の場となっています。

ウ.野毛地区センターは近年、団体利用が増加して会議室等を予約できずにいる方が増えてきています。近隣のにぎわい座等の公共施設と連携し、会議室等の空き情報を利用者に提供するなど、施設相互で協力していきます。

(2) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の方法

- ア．野毛地区センターでは、幼児からお年寄りまで、誰でも気軽に立ち寄れる場所であり、高齢者、障害のある方も安心して利用できるように、利用者などの委員による「野毛地区センター地域連絡会」の意見を迅速に反映し、より一層の利便性・安全性を確保した施設運営を進めます。
- イ．日常の利用者からの意見や要望、苦情等への対応については、館内に「おたより箱」を設置し、利用者の要望等の把握に努めるとともに、団体利用者及び個人利用者を対象とした「利用者会議」を定期的開催して利用者ニーズを把握、また、自主事業後にいただいたアンケートの結果を次の事業に生かすなど、利用者の視点に立って施設の運営に反映させます。

3 施設でのサービスの提供に対する考え方

(1) 20年度におけるサービスの提供に関する基本的な考え方

- イ．地区センター条例の趣旨に基づき、地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、相互の交流を深める場として、会議室等を、利用要綱を基にして利用していただきます。
- イ．利用料金の減免、開館時間の変更等、利用者からの要望については、地区センター条例の趣旨に基づいて、区と協議しながら対応してまいります。

(2) 会議室等の利用に関する取扱いについて

- ア．野毛地区センターを定期的に利用する団体から、特に要望の多い優先利用については利用団体が多く、優先利用を認めると新規の団体が利用できなくなる恐れがあるので、当面の優先利用は、自主事業の意味合いがある野毛ギャラリーおよび野毛ミニステージ参加団体に限定させていただきます。
- イ．利用者会議でも要望が上り、団体の利用率が高い集会室については、土曜日の枠を団体利用に変更し、利用者の要望に応えてまいります。また、夏休み等は、子どもたちの要望に応え、当日団体利用がない場合に卓球利用に開放することも考慮します。

(3) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

- ア．地域の活動に参加したい、あるいは趣味を広げて生活環境を向上させたい等の相談などには、当センターの自主事業や中区内の他の施設で活動している団体の紹介も行なっていきます。
- イ．部屋の貸出しを通じてサークル活動のきっかけ作りを図るため、個人情報の保護に配慮しながら、当センターのホームページの中の「お仲間募集」などで広く活動サークルを紹介します。

(4) その他のサービス実施に関する計画について

- ア．中区区民利用施設協会内にサービス検討部会を設け、各施設長が案を出し合い、環境に配慮しながら、施設の特徴を出して協会全体として、サービスの向上を目指していきます。
- イ．野毛地区センターの利用者会議やアンケートでも設置希望が多く出されていた貸しロッカーについては、18ブースを新たに設け、19年度より1年間単位で貸し出すことにし、抽選で利用団体を決定することとします。

4 施設に経営に関する考え方

(1) 施設の効率的な管理運営のための計画について

- ア．中区区民利用施設協会内に効率管理検討部会を設け、会議室等は適正温度を維持するなどサービスの低下とにならないように配慮しながら、経費の節減に努めて参ります。
- イ．野毛地区街づくり会との共催など、地域に密着した魅力ある自主事業を企画するとともに、参加者からある程度の費用負担を求め、事業経費の軽減に努めます。

(2) 利用料金の設定について

- ア．利用時間帯の中で、午後 の時間帯は午前、午後 、夜間の時間帯より利用率が比較的低いので、会議室等の料金を通常料金より20%割引し、割安感を打ち出すことにより、利用率とサービスの向上を目指します。
- イ．利用日当日の会議室等の利用申込みについては通常料金より50%割引し、ロビー等で活動している方々にも気軽に利用出来るようサービスを向上させると同時に利用率の向上を図ります。

5 施設の運営に関する職員体制・情報保持の考え方

(1) 職員の配置及び採用について

- ア．館長を1名配置します。主任を2名、館に相応しい人材を透明で公正な公募によって配置して、成績評価を前提とした雇用形態とします。職員の勤務形態は利用者の利便性を確保することを第一に、日・祝祭日の勤務、日勤・夜勤などの区分ごとに館の運営が円滑に行なえるように配慮します。
- イ．また、「笑顔・親切・安全」を基本として利用者の立場にたって、施設の運営に積極的に携わってもらう中区区民利用施設協会のコミュニティスタッフ4名、コミュニティスタッフ美化担当1名を野毛地区センターとして近隣地域より適任者を公募により採用して配置します。

(2) 職員の研修計画について

野毛地区センターは、「利用者の視点に立った管理運営」を目指し、次の研修を行います。

- ア．業務研修 毎日の業務の中で、その日にあった事例を日誌に記録し、職員、スタッフの職場研修の中で、苦情の対応等、事例に即して効果的な研修を実施します。
- イ．接遇研修 利用者の好感度の第一は接遇であることを念頭に置き、心地よい快適で良質な接遇、手際のよい適確かつ迅速な対応で安全・安心な施設運営を行います。
- ウ．人権研修 中区区民利用施設協会で開催する人権研修に全員参加します。
- エ．個人情報保護研修 個人情報の取り扱い並びに横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく罰則の内容及び民事上の責任等について周知徹底します。
- オ．救急法研修 利用者が負傷したり急病になった場合の対応として、職員、スタッフ全員が、A E Dを含めた応急処置と心得について研修します。

(3) 個人情報の保護の措置について

- ア．平成17年4月施行の「個人情報保護法」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例第4条」の事業者の責務として、個人情報の取り扱いには充分慎重に対処していきます。
- イ．中区区民利用施設協会内部に個人情報保護推進委員会をすでに創設し、また、「個人情報保護指針」を制定し、各館に掲示、公表して個人情報の厳正な取り扱いを徹底しています。
- ウ．野毛地区センターでは、団体登録はしないなど、極力個人情報は求めませんが、必要最小限の個人情報については、横浜市個人情報の保護に関する条例により、また、個人情報保護指針に基づいて、当センターで独自に個人情報保護研修を行なって、適正・安全な管理により利用者の個人情報を慎重に保護しています。

6 緊急時対策について

(1) 防犯、防災の対応について

- ア．中区区民利用施設協会では、緊急対策のマニュアルを作成し、いったん緊急事態が発生したときは、可及的速やかに対応することを徹底します。
- イ．野毛地区センターでは、年に2回以上実施している職場研修の中で、消防計画を基に組織した自衛消防隊で、利用者の避難誘導を最優先に防犯、防災、避難訓練を実施し、緊急時に備えています。
- ウ．また、ちえる野毛の複合施設全体で行なう消防訓練に自衛消防隊の一員として積極的に参加し、避難経路の再検討等を行なうなど利用者の安全を確保することにしていきます。

(2) その他。緊急時の対応について

ア．事件・事故等不測の災害等においても、警察、消防、行政関係及び地元関係者等への連絡網を平日、休日に分け事務室に掲示して緊急時に対応しているほか、閉館時にも2～3分で近隣のスタッフが参集できる体制をとっています。

イ．また、近隣の災害等に関しても、公の施設としての責務を認識して、応援や避難先としての施設の開放を積極的に行なっていきます。不測の事態に対処するため、緊急医薬品や毛布を当センターにストックします。

ウ．野毛地区センターは災害対策本部支援施設、ボランティア活動拠点及び在宅要援護者等の特別避難場所として位置づけられていることから、区と協議して施設の活用を図ります。

7 その他

横浜市野毛地区センター利用要綱を平成20年4月1日付で改定したいので添付します。

平成20年度 自主事業計画書

< 新規事業 >

施設名: 野毛地区センター

| 募集対象 | 事業名 (教室名) | 開催日 | 回数 | 参加人員 | | 自主事業経費 | | | 1人当たり 参加費 | | 講師謝金 | | 共催先 ねらい・新規理由 PR方法 |
|------|----------------------|--------|----|---------------|---------------------|------------------|------------------|----------|--------------|-----------|-------------------|-----------------------|--|
| | | | | 募集 人数 人 | 延べ 参加 人数 人 | 委託料 支出総額 円 | 参加者 負担総額 円 | 総経費 円 | 徴収 | 参加費用 円 | 1回1講師 当たり 円 | 1教室 講師謝金 額 円 | |
| 一般 | メタボ脱出健康体操 | 4月～9月 | 5 | 20 | 100 | 25,000 | 50,000 | 75,000 | 有 | 2,500 | 5,000 | 25,000 | メタボからの脱出をはかりからだの健康を考える |
| 一般 | インナーマッスル健康体操 | 10月～3月 | 5 | 20 | 100 | 25,000 | 50,000 | 75,000 | 有 | 2,500 | 5,000 | 25,000 | しなやかな体をつくる筋肉を中心に健康を考える |
| 小学生 | 子どもの空手教室 | 4月～3月 | 5 | 20 | 100 | 25,000 | 10,000 | 35,000 | 有 | 500 | 5,000 | 25,000 | 武術が学校の必須科目になることへの前段階。 1 昨年実施した講座に参加した子どもたちの弟たちをつくることにより、人とのかかわりも考 |
| 一般 | 語学講座 | 4月～3月 | 5 | 20 | | 25,000 | 50,000 | 75,000 | 有 | 2,500 | 5,000 | 25,000 | 異文化に触れることを目的とした語学講座 |
| 一般 | 大人のものづくり教室 | 4月～3月 | 8 | 18 | 144 | 40,000 | 18,000 | 58,000 | 有 | 1,000 | 5,000 | 5,000 | ものづくりを見直す機会をもち、楽しむ。 |
| 一般 | プリザーブドフラワーで四季のオーナメント | 4月～3月 | 4 | 18 | 72 | 20,000 | 27,000 | 47,000 | 有 | 1,500 | 5,000 | 5,000 | 手作りの楽しみを提供 |
| 一般 | 男の料理教室 | 4月～3月 | 6 | 18 | 108 | 30,000 | 18,000 | 48,000 | 有 | 1,000 | 5,000 | 30,000 | 男性の手料理を望む声が増え、おばんざいの基本から習う。 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------------|------------------------|----|----|-----|--------|--------|--------|---|-------|-------|-------|--|
| 一般 | 家庭でつくれる四季の和菓子 | 4月～3月 | 4 | 18 | 72 | 20,000 | 9,000 | 29,000 | 有 | 500 | 5,000 | 5,000 | 和菓子職人による家庭で作れる方法を直接学ぶ。日本の伝統を間近に体験できる。 |
| 一般 | 薬膳料理に親しむ | 4月～3月 | 12 | 15 | 180 | 0 | 27,000 | 27,000 | 有 | 1,800 | 0 | 0 | からだにやさしい食を考えながらお料理を学ぶ。生活習慣を見直すチャンス。 共催：薬膳健康づくり研究会 |
| 小学生～一般 | 絵本の読み聞かせ | 4月～3月 | 7 | 18 | 126 | ニーズ対応費 | 0 | 7,000 | 無 | 0 | 1,000 | 1,000 | キッズサークルのお料理を始める前にアリスのメンバーによる読み聞かせの楽しい時間を過ごす。 |
| | 野毛キッズサークル | 4月～3月 | | | 0 | | 0 | 0 | 無 | | | | |
| 小学生～中学生 | 料理教室 | 6月、8月、9月、11月、12月、1月、3月 | 7 | 18 | 126 | ニーズ対応費 | 9,000 | 49,000 | 有 | 500 | 7,000 | 7,000 | メリーポピンズによるお料理教室。 |
| 小学生～中学生 | 野毛山動物園 | 10月、2月 | 2 | 18 | 36 | 0 | 3,600 | 0 | 有 | 200 | 0 | 0 | 野毛山動物園の協力により動物たちを見学するだけでなく、詳しく教えてもらう。 |
| 小学生～中学生 | 工作教室 | 4月、5月、7月 | 3 | 18 | 54 | ニーズ対応費 | 9,000 | 15,000 | 有 | 500 | 5,000 | 5,000 | ものづくりを楽しむ。 |
| 年少～小学生(低学年)と保護者 | 親子でつくろう | 4月～3月 | 10 | 30 | 300 | 50,000 | 30,000 | 80,000 | 有 | 1,000 | 5,000 | 5,000 | 年少から小学生低学年と保護者が一緒になって工作やお料理をつくる。 |
| | 輪になって親子であそぼ！ | | | | 0 | | 0 | 0 | 無 | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------------|-----------|----|----|-----|--------|--------|--------|---|-------|-------|--------|---|
| 0歳児～未就園児と保護者 | 保育士さんといっしょにあそぼう | 7月、11月、2月 | 3 | 20 | 60 | 0 | 2,000 | 2,000 | 有 | 100 | 0 | 0 | 共催：山手保育園 |
| 0歳児～未就園児と保護者 | 季節の折り紙を作ってあそぼう | 4月～3月 | 3 | 15 | 45 | 12,000 | 4,500 | 16,500 | 有 | 300 | 4,000 | 4,000 | 季節の行事を折り紙で作り、楽しむ。 |
| 0歳児～未就園児と保護者 | エクササイズであそぼう | 4月～3月 | 6 | 20 | 120 | 30,000 | 2,000 | 32,000 | 有 | 100 | 5,000 | 5,000 | 将来の保育士とのふれあいを楽しむ |
| 小学生と親 | 紙飛行機とばそ！ | 4月～3月 | 2 | 18 | 36 | 10,000 | 9,000 | 19,000 | 有 | 500 | 5,000 | 10,000 | 紙飛行機をつくって飛ばしてみる。流体力学の勉強。 |
| 一般 | 野毛の店主に学ぶ職人の技 | 4月～3月 | 12 | 18 | 216 | ニーズ対応費 | 18,000 | 60,000 | 有 | 1,000 | 5,000 | 60,000 | 共催：野毛飲食協同組合 |
| | パソコン活用塾 | 6月～3月 | | | 0 | | 0 | 0 | 無 | | | | 18年度から始まった講座。受講者からリクエストの多かったインターネット、画像処理を計画。自主事業の予算が足りない為、最終回とその前は講師の好意により謝金無しで行えることになった。 |
| 一般 | インターネット | 9月 | 4 | 16 | 64 | 40,000 | 40,000 | 80,000 | 有 | 2,500 | 5,000 | 20,000 | |
| 一般 | 画像処理 | 6月 | 3 | 16 | 48 | 30,000 | 40,000 | 70,000 | 有 | 2,500 | 5,000 | 15,000 | |
| 一般 | 仕事で使えるExcel Part2 | 10月 | 5 | 8 | 40 | 25,000 | 32,000 | 57,000 | 有 | 4,000 | 5,000 | 25,000 | |
| 一般 | Word | 11月、2月、3月 | 2 | 16 | 32 | 0 | 40,000 | 40,000 | 有 | 2,500 | 0 | 0 | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------------------------|--------|---|-----|-----|--------|--------|---------|---|-----|--------|---------|---|
| 一般 | 若年者応援講座 | 7月～2月 | 4 | 20 | 80 | 0 | 10,000 | 10,000 | 有 | 500 | 0 | 0 | いろいろな悩みを抱えた若者を中心を対象とした講座。共催：NPO キャリアコンサルタント |
| 小学生～おとな | 門松をつくってみよう | 2月 | 1 | 20 | 20 | 5,000 | 10,000 | 15,000 | 有 | 500 | 5,000 | 5,000 | お正月の門松を手作りで。職人の指導を受ける。 |
| | 開港150周年記念事業 野毛の文化・芸能を学ぶ | 5月～11月 | | | 0 | | 0 | 0 | 無 | | | | |
| 一般 | 野毛の施設見学 | 5月 | 3 | 30 | 90 | ニーズ対応費 | 15,000 | 40,000 | 有 | 500 | 10,000 | 40,000 | 野毛の街興し。街の歴史を学ぶことにより愛着をもってもらい、活性化を図るねらい。2年の長期スパンで計画。後援：横浜開港資料館 共催：野毛地区街づくり会 協力：のげさんぽ |
| 一般 | 野毛を築いた人々 | 6月 | 3 | 30 | 90 | ニーズ対応費 | 15,000 | 40,000 | 有 | 500 | 10,000 | 40,000 | |
| 一般 | 経済から見た文化 | 9月～10月 | 3 | 30 | 90 | ニーズ対応費 | 15,000 | 40,000 | 有 | 500 | 10,000 | 40,000 | |
| 一般 | 今後の野毛の未来と発展 | 11月 | 2 | 30 | 60 | ニーズ対応費 | 15,000 | 40,000 | 有 | 500 | 10,000 | 40,000 | |
| 一般 | 野毛地区センター25周年記念のお祭り | 12月 | 1 | 200 | 200 | ニーズ対応費 | 0 | 100,000 | 無 | 0 | | 100,000 | |
| 一般 | 開港150周年記念事業 クリスマスコンサート | 12月 | 1 | 100 | 100 | ニーズ対応費 | 0 | 60,000 | 無 | 0 | 60,000 | 60,000 | 生の迫力あるコンサートを間近に楽しむクリスマスのシーズンイベント。共催：野毛地区街づく |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|----------------|------|----|-----------------------|-----|--------|--------|--------|---|-----|-------|-------|--|
| 団体 | 野毛ギャラリー | 4～3月 | 12 | 15団体 | | 20,000 | 0 | 20,000 | 無 | 0 | 0 | 0 | ねらい:利用団体支援 (作品発表の場提供) ギャラリー会議年1回 (利用団体会議としても 機能) 支出予定は会議 の茶菓子と新規参加 団体用のマグネット表 |
| 個人 | パーソナルギャラリー | 4～3月 | | 希望 者に 合わせ調 整 | | 0 | 0 | 0 | 無 | 0 | | | ねらい:個人作品発表 の場提供 申し出が あれば、展示スペース の空き状況をみながら 受け付ける PR方法:館内掲示 |
| 子ども～ 大人 | 野毛紙芝居 | 4～3月 | 15 | | | 15,000 | 0 | 15,000 | 無 | 0 | 1,000 | 1,000 | ねらい:生のステージを 子ども達に定期的に体 験 ただし、演者滝之 助が多忙になり月1回 程度の上演となっている。 土曜の午後子ども たちの楽しみとなってい る @1000×15回 分として予算計上して みた |
| 一般 | (共) ヨコハマ遊学校 | 4～3月 | 9 | 100 | 900 | 0 | 50,000 | 50,000 | 有 | 500 | 0 | 0 | 共催:ヨコハマの会(文 化人団体) ねらい:文化人の講演 を身近に提供 |
| 子ども | おもちゃの病院 | 6～2月 | 4 | 20 | 80 | 12,000 | 0 | 12,000 | 無 | 0 | 3,000 | 3,000 | 共催:中区おもちゃのド クターネットワーク ねらい:おもちゃの修理 を通して物の大切さを 実感させる クリスマスシーズンに 修理の問い合わせが多 かったので 昨年度より1回多くお願 いした *傷害保険加入 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-------------------------|------|----|-----|-------|--------|--------|---------|---|-------|--------|--------|--|
| 第一北部 地区単身 高齢者 | (共) ふれあい給食 | 4～3月 | 8 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 無 | 0 | | 0 | 共催：第一北部地区社協 *施設提供、ごみ処理協力。 地域協力事業。PR：特 |
| 一般 | (共) 音楽と落語の宅配便 Part.4 | 4～2月 | 6 | 50 | 300 | 0 | 0 | 0 | 有 | 500 | 0 | 0 | 共催：野毛志隆の会 |
| 一般 | (共)井戸端交流コンサート イン 野毛 | 3月 | 1 | 100 | 100 | 20,000 | 0 | 20,000 | 有 | 500 | 20,000 | 20,000 | 「のげとも童唱会」との 共催事業。近隣の童 謡、唱歌の合唱団体と の交流コンサートを参 加者とともに楽しむス 人気のある自家製味 噌作り。年中行事のよ うになり、皆さんの家庭 の健康を支えるために も必要となっている。 |
| 一般 | 手造りのお味噌づくり体験 | 2月 | 2 | 10 | 20 | 0 | 21,000 | 21,000 | 有 | 2,100 | 3,000 | 3,000 | |
| 一般 | 七夕に願い事をしよう | 7月 | 1 | 100 | 100 | 5,000 | 0 | 5,000 | 無 | 0 | 5,000 | 5,000 | 笹の葉に願い事を書い た短冊を結びつけて七 夕を楽しむ事業。 |
| 予備費 | | | | | | | | | | | | | チラシ作成の為の消耗 品、その他 |
| 合計 | | | 58 | 380 | 1,500 | 72,000 | 71,000 | 143,000 | - | - | - | 32,000 | |

共催先・ねらい・新規理由は具体的にご記入ください。

総合計 500,000

平成20年3月3日

平成20年度 横浜市野毛地区センター 収支予算書

収入の部

| 項目 | 金額(円) | 備考 |
|---------|------------|-----------|
| 指定管理料 | 33,479,000 | 収入内訳1のとおり |
| 利用料金 | 2,997,000 | 収入内訳2のとおり |
| その他事業収入 | 150,000 | 自動販売機収入等 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 小計(A) | 36,626,000 | |

支出の部

| 項目 | 金額(円) | 備考 |
|--------|------------|-----------|
| 人件費 | 18,841,000 | 支出内訳1のとおり |
| 事務費 | 1,126,000 | 支出内訳2のとおり |
| 事業費 | 500,000 | 支出内訳3のとおり |
| 管理費 | 12,987,000 | 支出内訳4のとおり |
| 二一ズ対応費 | 999,000 | |
| 事務経費 | 1,274,000 | |
| 公租公課 | 899,000 | 消費税相当分 |
| | | |
| 小計(B) | 36,626,000 | |

差し引き

| | | |
|-----------|---|--|
| (A) - (B) | 0 | |
|-----------|---|--|

収入内訳1 指定管理料内訳

| 項目 | 金額(円) |
|-------------|------------|
| 人件費 | 18,841,000 |
| 事務費 | 1,126,000 |
| 事業費 | 500,000 |
| 管理費 | 12,987,000 |
| 二一ズ対応費 | 999,000 |
| 事務経費 | 1,274,000 |
| 公租公課 | 899,000 |
| 利用料金収入 | -2,997,000 |
| その他収入(自販機等) | -150,000 |
| | |
| 計 | 33,479,000 |

収入内訳2 利用料金収入見込

| 部屋名(面積㎡) | | 年間コマ数 | 減率 | 稼働率 | 単価(円) | 利用料金収入(円) | 利用料金見込み(円) |
|----------|-------|-------|-----|-------|-------|-----------|------------|
| 会議室 | 48.1 | 1,324 | 0.9 | 68.4% | 660 | 537,240 | 合計金額の10%増 |
| 和室和 | 82.8 | 1,324 | 0.9 | 33.4% | 570 | 226,290 | |
| 和室茶 | | 1,324 | 0.9 | 28.6% | 570 | 193,800 | |
| 工芸室 | 51.2 | 1,324 | 0.9 | 55.7% | 720 | 477,360 | |
| 料理室 | 50.0 | 1,954 | 0.9 | 14.0% | 540 | 132,840 | |
| 集会室P | 159.8 | 1,098 | 0.9 | 54.4% | 1,110 | 596,070 | |
| 集会室他 | | 1,098 | 0.9 | 51.2% | 1,110 | 560,550 | |
| 合計 | | | | | | 2,724,150 | 2,996,500 |
| 改め | | | | | | | 2,997,000 |

支出内訳1 人件費

野毛地区センター

| 項目 | 金額 | 備考 |
|--------------|------------|---|
| 職員給与(館長) | 4,237,000 | @258,400 × 16.4月 |
| 職員給与(指導員) | 6,330,000 | @193,000 × 16.4月 × 2名 |
| 職員社会保険料等 | 1,524,000 | 健康保険料、健康診断、厚生年金、児童手当拠出金、雇用保険料、労災保険料 |
| 通勤費 | 359,000 | (館長)@11,950 × 12月 (指導員)@26,930 × 年4回 × 2名 |
| スタッフ賃金(通常) | 5,337,000 | (午前)@840 × 4時間 × 345日 × 1名 (午後)@840 × 4時間 × 345日 × 1名 (夜間)@890 × 4時間 × 280日 × 2名 (作業担当)@990 × 3時間 × 345日 × 1名 |
| スタッフ賃金(休暇対応) | 404,000 | (午前)@840 × 4時間 × 7.5日 × 2名 (午後)@840 × 4時間 × 7.5日 × 2名 (夜間)@890 × 4時間 × 5.5日 × 4名 (作業担当)@990 × 3時間 × 8.5日 × 2名 (繁忙期予備・その他) 175,000 |
| スタッフ社会保険料等 | 111,000 | 健康診断(@8,200)、労災保険料 |
| スタッフ交通費 | 539,000 | @26,930 × 年4回 × 5名 |
| 計 | 18,841,000 | |

支出内訳2 事務費

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------|-------------|
| 旅費 | 20,000 | |
| 消耗品費 | 260,000 | |
| 会議賄費 | 10,000 | |
| 印刷製本費 | 50,000 | |
| 通信費 | 180,000 | |
| 使用料及び賃借料 | 166,000 | |
| 備品購入費 | 30,000 | |
| 図書購入費 | 20,000 | |
| 地域協力費 | 20,000 | |
| 施設賠償責任保険 | 40,000 | |
| 廃棄物処理費 | 80,000 | ルート回収に伴う処分費 |
| 手数料 | 250,000 | |
| 計 | 1,126,000 | |

支出内訳3 事業費

| 項目 | 金額 | 備考 |
|-------|---------|----|
| 自主事業費 | 500,000 | |
| 計 | 500,000 | |

支出内訳4 管理費

| 項目 | 金額 | 備考 |
|---------|------------|----|
| 光熱水費 | 2,500,000 | |
| 清掃費 | 500,000 | |
| 修繕費 | 1,100,000 | |
| 冷暖房保守費 | 650,000 | |
| 電気設備保守費 | 50,000 | |
| その他保全費 | 0 | |
| 共益費 | 8,187,000 | |
| 計 | 12,987,000 | |